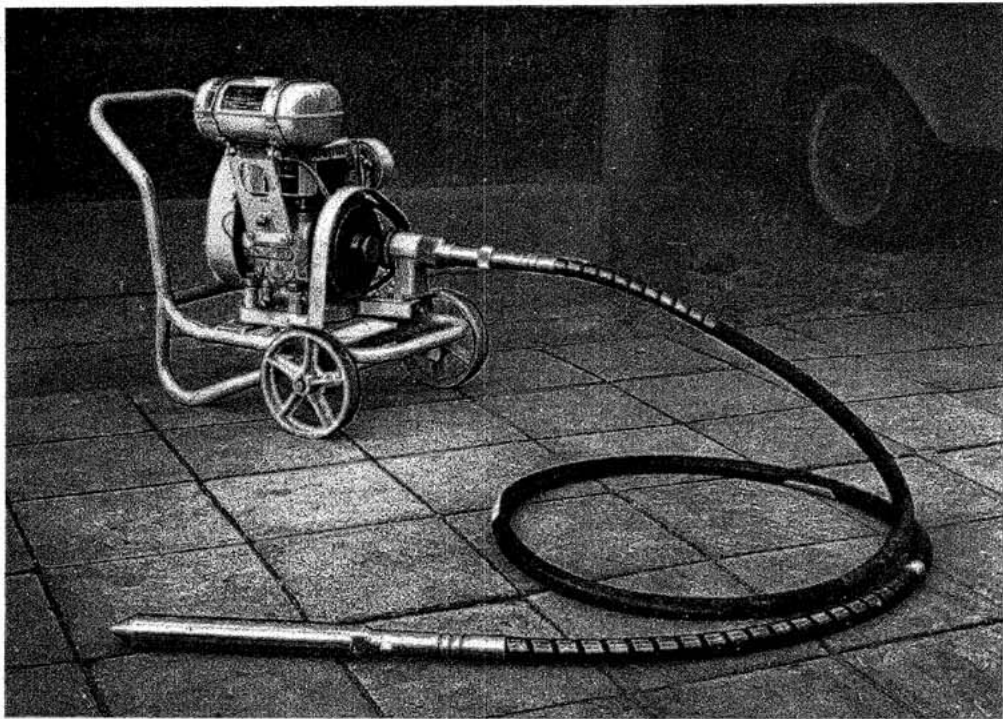
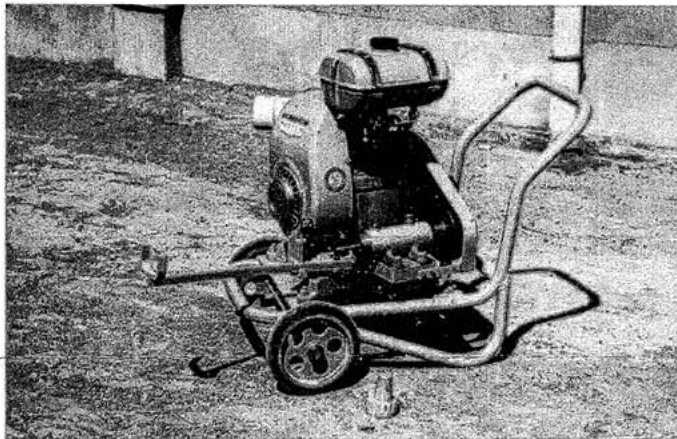




3PSミカサ・エンジン車（内・外パイプブローター用）

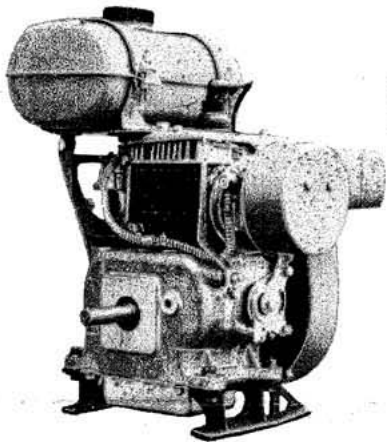
永らく皆様の御愛用を賜わって居りました、4PSのミカサ・エンジン車に代つて、此の程3PSのミカサ・エンジン車が新しく生れました。此のエンジン車は、内部及び外部パイプブローター専用のもので、内部構造も大体4PSのものと変りなく、シャフト受やストッパーが除かれ、全体的に少々小型に改造されて、前部の移動車輪も鋳鉄製のものが取付けてあります。上に掲げた写真のように御覧になつた感じも、今までの4PSのものと殆ど相違ございません。勿論本機に於ては不快な自動遠心クラッチもついていませんから、性能的にも又、4PSのものと全く同じでございます。只大きな特色としては、エンジンが4PSから3PSになつたためその価格差と共に、大要廉価にお求め易くなつたのではないかと存じます。註、加速装置付エンジンの搭載してある移動車をエンジン車と呼んでゐます。此の移動車は前部に取付けられた2個の車輪と、後部のステップとにより支持された軽快なパイプ製のベツトにより組立てられ、ベツト上に乗せてある回転テーブルの上にエンジンが据へて、アジャスト装置のついた軽合金製の特殊なトランスミッターにパイプブローターを接続させて、自由にどこへでも移動しながら使へるようになっています。その上本機には自動遠心クラッチが取付けてありますから最初、エンジンだけを廻して置けば、作業中パイプブローターを止めたり廻したりすることが自由に出来ます。



4PS ミカサ・エンジン車（平面振動機用、路面振動仕上機用其他）

改造成る

ミカサ エンジン車



3PS カサMG3型 エンジンについて

上に掲げたエンジンは3PSミカサMG3型エンジンで、4PSミカサMC4型の姉妹機として誕生して以来、数度にわたり、改良が加えられ内容外観ともに充実した建設機械用小型エンジンです。その特徴は、寒い時でも容易にスタートすることが出来、コンパクトに纏められた燃焼室に依り強力な馬力を発生します。又、長時間の運転に耐えられる様、排気管に較べて大きなオイルパンを設け、更に排気弁にはステライトを溶着して耐久力の向上を計り、いつでも調子良く作業出来る様配慮されてあります。なお標準装備のまゝで約三〇度の傾斜運転も可能であり、カム歯車材にはベークライトを使い、外装その他MC4型との共通部品を使用する等、この級の小型エンジンとしては全体としてゆつたりとした余裕のある設計がなされて居ります。

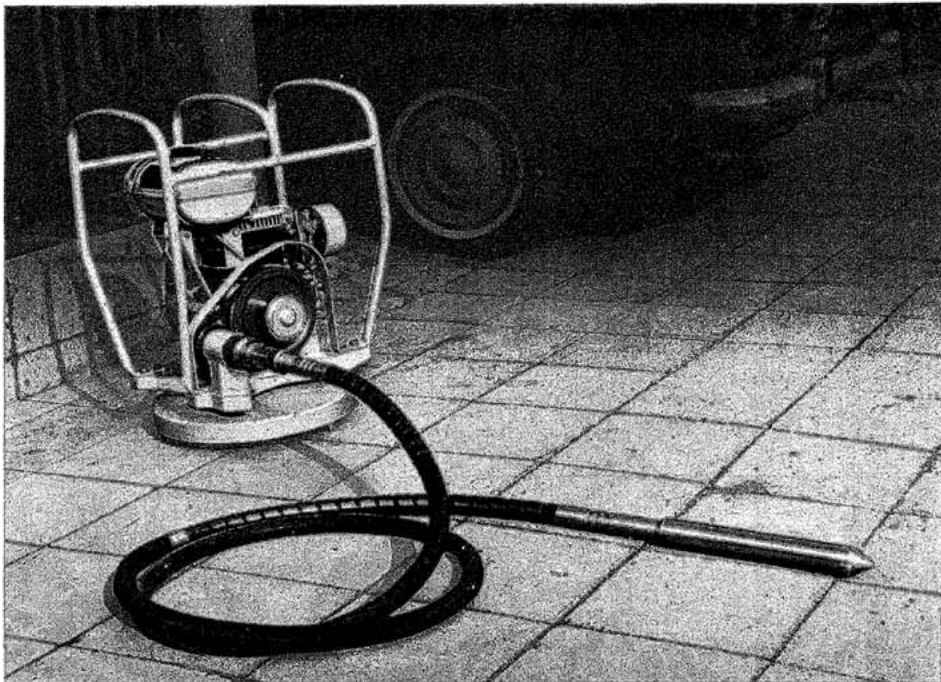
3PS

クワツチ付

ミカサ・エンジン盤

完成

ミカサエンジンの中でも最も高い需要率を挙げていて、逐年ご好評をいたゞいて居りますのは、何んと云つても、お使い易くて便利な3PSの可搬式エンジン盤です。ところが、最近このエンジン盤に、クワツチをつけて欲しいとの御要望が、各方面から出て居りましたので、このほど漸く右に掲げた写真のような理想的なエンジン盤が出来上りました。クワツチがありませんと、38型までのパイプブローターならば、ワンタッチで起動させることも出来ますが、45型以上となるとクワツチなしでは少々無理なようです。そこでクワツチをつけることにしたのであります。しかもこのクワツチは定評のある自動遠心クラッチですから、極めてスムーズに操作することが出来ます。註、加速装置付エンジンの搭載してある可搬式エンジン盤と呼んでゐます。この可搬式は円形の回転テーブルの上に、自動遠心クラッチとアジャスト装置のついた特殊なトランスミッターが具備され、其処からパイプブローターが接続されてフレキシブルシャフトにより回転するようにしてあります。エンジンは回転テーブルの上に据へ付けられ、可搬用の鉄パイプで囲んでありますから、鉄パイプの両端を持って容易に持ち運ぶことが出来ます。又可搬盤を安定させるために特に回転テーブルの下部に爪が装置されてありますから、現場作業には安定感があつて至極使い易いので大変調法がられて居ります。



機 関 仕 様	
名称	ミカサMG型
機関の種類	強制空冷四行程側弁式
気筒数	1
気筒直徑	62mm
行程	52mm
総排氣量	157cc
圧縮比	6.0:1
標記出力	2.5PS/3000R.P.M
最大出力	3.5PS/3600R.P.M
最大トルク	0.73m.kg/3600R.P.M
燃料消費率	1時間1馬力当り310gr (標記出力にて)
気化器	MIC B 21-4 BH
マグネット	FAH-1 AR
点火栓	NGK B 4
空気清浄器	濾紙式
始動方式	手動ロープ
潤滑方式	飛沫式
潤滑油槽	遠心重錘式
燃料槽容量	4.0立(2升2合)
潤滑油槽	0.7立(4合)
使用燃料	普通自動車用ガソリン
機関寸法	330%×395%×455% (長サ×巾×高サ)
機関乾燥重量	18.7kg(5貫)
電 略	3 エンシ

(2)

静岡市中田町七一四ノ一

株式会社

盛岡市本町通り三ノ一九

りして青森代理店の前田産に初代社長前田満穂氏に依て驚異的な発展を遂げた。業さんを訪問した。ところり創立され、昭和三十二年青森市の人口は約二十二万が意外にも店舗に一步足を二月には各官庁並に得意先県庁の所在地でもある。そふみ入れた瞬間感じられた各位の御要望に依り、現在れよりも広く人々に知られものは前田専務統率のもと市の内長島町七五にサービてゐるのは青函連絡船の発

日本のスイス、北アルプ藤社長自から常に第一線に防、堰堤、墜道、ビル建築、スの玄関口にあたる山岳都立たれて全社員をリードし道路等あらゆる工事の近代

松本市宮村町六七四ノ二

双葉工業株式会社

松本市宮村町六七四ノ二

日本のスイス、北アルプ、藤社長自から常に第一線に
スの玄関口にあたる山岳都、立たれて全社員をリードし
市、松本駅に着いたのは、て行かれるフアイアード
登山シーズンにはいる六月、行動力には、心強く感ずる
中甸である。市内目抜通り、力がある。金森事務以下
は、ほとんど区画整理され、社員一同の不断の御努力に
による。これ等の工事によつて、県南地方の河川砂
防、堰堤、墜道、ビル建築
道路等あらゆる工事の近代
機械化を計られ、進歩発達
に多大な御貢献をされたの
であつた。創立当時の市内
土井尻町より昭和三十四年
現在の宮寺町に店舗を拡へ

株式会社 前田産業

青森市長 島町 七五

今年をはじめて青森を訪ねに「ピチ／＼と御活躍する社」ス部門を拡張すると共に營て気が付く事は六月に入つ員一同のお姿であつたこれ業所を移築されたもので、ても田植えをしていない事で先に感じた憂いなど微塵その間初代社長満穂氏が死

一身に集めて県南に、県北に活躍する代理店前田産業はますますの大飛躍を約束されて居り、其の御発展を念じつつ、津軽富士を背に青森を離れる。

着港としてであらう。荒涼とした青森県東部の山野を抜けた太平洋の波洗う海岸線を行く。青森駅に近づくと、旅行者は一種の安らぎを感じ、又連絡船で函館からの旅行者も本州に着く喜びを感じる事であらう。

最も大きな話題は何んと云つても本州と北海道を結ぶ青函海底トンネル（青函トンネル）の工事であらう。津軽半

里珠音の辺境

発足以来満三ヶ年目を迎へた我が三笠野球部は度重なる試合に連勝を遂げてはいますが後一步と云う所では惜敗している。笠チームに育てるべく努力リーグ戦には積極的に参加したいと思つています。ど

状態です。こゝで、新年度を迎えてチームの強化を計るべく役員を改選し、来る

さい。

省方法試合運び等を検討しつゝ毎月一回みっちり練習するつもりで居ります。今後は、地方遠征等試合数を多

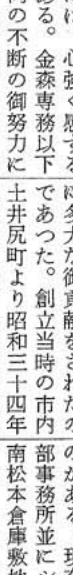
後列左ヨリ佐瀉、坂本、中島、鈴木、松下、今野、
前列左ヨリ大沢、荻本、山崎
— 本社屋上の稲荷社前にて必勝祈願 —



町として発展し現在人口十五万余岩手県的首都でもある。県でも最近産業振興に併行して観光開発に力を入れて居り、その成果は大いに期待されてゐる。其の県の積極的な開発事業と共に、盛岡市で御活躍されてゐる岩手県代理店の三洋機械さんである。全社は菊地美

その他、其の資源の開発、追隨を許さないものがあつて、全社のますますの御發展と社員御一同の健康を祈りつつ盛岡駅を出立、十月開通を目指して東北本線の電化工事並に復線工事に活躍する各種土木機械の活動状態をまぎ／＼と車窓より眺めながら帰京の途につく。

市松本町に着いたのは登山シーズンにはいる六月中旬である。市内目抜き通りは、ほとんど区画整理されている。これ等の工事には弊社のパイプレーターが活躍したことを想いながら歩いていたら双葉工業の店頭に立っていた。会社は昭和三十年に創立され、我々とは創立当時の古いお付き合いで、壮気あふれる奇



て行かれるフイトあるこ
機械化を計られ
進歩発達
発展振りに目を見張
行動力には、心強く感ずる
ものがある。金森専務以下
に多大な御貢献をされたの
であつた。創立当時の市内
部事務所並にシヨルムン
社員一同の不断の御努力に
土井尻町より昭和三十四年
よつて、県南地方の河川砂
現在の宮寺町に店舗を拡へ
で七月初旬に落成する。



海水浴のシーズンが

海水浴のシーズンが近づきましたので厚生施設の一環として、昨年にならつて三笠海の家を7月1日～8月31日迄の2ヶ月間、千葉県の勝山海岸に開設しました。
この夏は涼しい船で海のきれいな南房総への海水浴、釣り、避暑等に御誘い合せの上、御来遊下さい。
目下、総務課で申し込み受付中です。パンフレット御希望の方は総務課に用意して御座いますから申し出て下さい。

場所 千葉県安房郡鋸南町龍島 169 TEL (勝山) 123 頼朝荘別館(東海汽船直営旅館)
交通 国鉄千葉駅より房総線乗換、勝山駅下車徒歩約5分、船便、浜松町、横浜、久里浜より勝山
港行直通便あり下船後徒歩3分位

当季雑詠 1人 10句以内
 用紙 ハガキ又は便箋縦書
 締切 9月20日
 佳作には薄謝を呈す

東京 坂根和子
家近く流れ曲りぬ春の川
保土谷 村松春陽
あじさいに夕べの夢のおぼ
ろげな
休暇には帰るとの便りあり
立葵 館林 武井光影
元旦
パンコ始動寒梅小さくふる
へいる
成人式常と変らず業衣着る
遅後吟
春の雷ビル街の闇へ落ちこ
みぬ
かけもせずからりせず暮る
四月馬鹿

三笠産業俳句

100
 101
 102
 103
 104
 105
 106
 107
 108
 109
 110
 111
 112
 113
 114
 115
 116
 117
 118
 119
 120
 121
 122
 123
 124
 125
 126
 127
 128
 129
 130
 131
 132
 133
 134
 135
 136
 137
 138
 139
 140
 141
 142
 143
 144
 145
 146
 147
 148
 149
 150
 151
 152
 153
 154
 155
 156
 157
 158
 159
 160
 161
 162
 163
 164
 165
 166
 167
 168
 169
 170
 171
 172
 173
 174
 175
 176
 177
 178
 179
 180
 181
 182
 183
 184
 185
 186
 187
 188
 189
 190
 191
 192
 193
 194
 195
 196
 197
 198
 199
 200
 201
 202
 203
 204
 205
 206
 207
 208
 209
 210
 211
 212
 213
 214
 215
 216
 217
 218
 219
 220
 221
 222
 223
 224
 225
 226
 227
 228
 229
 230
 231
 232
 233
 234
 235
 236
 237
 238
 239
 240
 241
 242
 243
 244
 245
 246
 247
 248
 249
 250
 251
 252
 253
 254
 255
 256
 257
 258
 259
 260
 261
 262
 263
 264
 265
 266
 267
 268
 269
 270
 271
 272
 273
 274
 275
 276
 277
 278
 279
 280
 281
 282
 283
 284
 285
 286
 287
 288
 289
 290
 291
 292
 293
 294
 295
 296
 297
 298
 299
 300
 301
 302
 303
 304
 305
 306
 307
 308
 309
 310
 311
 312
 313
 314
 315
 316
 317
 318
 319
 320
 321
 322
 323
 324
 325
 326
 327
 328
 329
 330
 331
 332
 333
 334
 335
 336
 337
 338
 339
 340
 341
 342
 343
 344
 345
 346
 347
 348
 349
 350
 351
 352
 353
 354
 355
 356
 357
 358
 359
 360
 361
 362
 363
 364
 365
 366
 367
 368
 369
 370
 371
 372
 373
 374
 375
 376
 377
 378
 379
 380
 381
 382
 383
 384
 385
 386
 387
 388
 389
 390
 391
 392
 393
 394
 395
 396
 397
 398
 399
 400
 401
 402
 403
 404
 405
 406
 407
 408
 409
 410
 411
 412
 413
 414
 415
 416
 417
 418
 419
 420
 421
 422
 423
 424
 425
 426
 427
 428
 429
 430
 431
 432
 433
 434
 435
 436
 437
 438
 439
 440
 441
 442
 443
 444
 445
 446
 447
 448
 449
 450
 451
 452
 453
 454
 455
 456
 457
 458
 459
 460
 461
 462
 463
 464
 465
 466
 467
 468
 469
 470
 471
 472
 473
 474
 475
 476
 477
 478
 479
 480
 481
 482
 483
 484
 485
 486
 487
 488
 489
 490
 491
 492
 493
 494
 495
 496
 497
 498
 499
 500
 501
 502
 503
 504
 505
 506
 507
 508
 509
 510
 511
 512
 513
 514
 515
 516
 517
 518
 519
 520
 521
 522
 523
 524
 525
 526
 527
 528
 529
 530
 531
 532
 533
 534
 535
 536
 537
 538
 539
 540
 541
 542
 543
 544
 545
 546
 547
 548
 549
 550
 551
 552
 553
 554
 555
 556
 557
 558
 559
 560
 561
 562
 563
 564
 565
 566
 567
 568
 569
 570
 571
 572
 573
 574
 575
 576
 577
 578
 579
 580
 581
 582
 583
 584
 585
 586
 587
 588
 589
 590
 591
 592
 593
 594
 595
 596
 597
 598
 599
 600
 601
 602
 603
 604
 605
 606
 607
 608
 609
 610
 611

代理店会の記

には重機械の出品が無く建設展としては稍々淋しい感じもしたが、それでも各出品会社の意欲に溢れたPRは観覧者の足を止めて、多大の共感を与えた。当社も道内の代理店である中道機械さんの小間の一部に当社の独立小間を設けて、MT R-60型タンピンググラマール、MT R-120型タンピンググラマールの他、各種のバイブレーターや新製品のMVCS-2型バイブロンパックターなどを出品した。特に2型バイブロンパックターは観覧者の注目をひき連日人気を呼んだ。初日、二日と薄曇りの天気で小雨がパラついたが需要家、関係者の熱心な来場によって今

厄年に見舞れたというこどだった、当時我社でも社員が僅かながら義損金を持寄つて某新聞社に托した事を今思い出したりした。今年は今内地に冷夏が訪れるとか、不作の年になるとか、云つて其の前ぶれは不吉なことばかりだが、これが又北海道を見舞うようなことにならなければよいが、いや、どうかそうならないで欲しい、そうして大陸的なゆつたりとした気分が洋溢している北海道が、楽土として此の先共、すく／＼と発展して行くことを心に願つて、展示会の終幕を告げるベルの音を高らかに聞きつゝ宿舎へ引揚げた。(堀光報)

自五月十日
至五月十二日

我が社の西部地区富山代理店、丸三開発工機株式会社は、そろ／＼我が社の展示場の人も人だかりする様になった。我々の御依頼によりマイブレイター並にランマー等を出品展示することになった。開幕当日は朝から雨模様で客足が鈍かつたが、富山新聞のアドバルーンが空からと、スピーカーで会場から盛んに客を呼び込んで呉れたので、次第に展示会気分が盛り上つて、やがて未着で心配していたインパクトローラーとバイプロ、コンパクターが到着した頃に与えた。(浅野報)

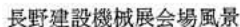


自五月十五日
至五月十六日

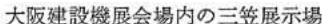
今回の展示会は長野県下の有力な建設業者六十五社で結成されている協会の、第十二回定時総会の一つの催物として開催されたもので、我が社も代理店である長野機材さんからの依頼によりパイプレータやランマーなど、いくつかの機種を揃えて実演を行つた。開期は僅か二日間ではあったが、御熱心な参観者が終日詰めかけて連日盛況を極めた。

此の地方では、我が社のエンジン式パイプレータが可成り多く使われている様で大変意を強よくしたの様にスタンピングランマーは未だ広範囲に使用されて居られるお客が非常に多かつたのは、まだ「P.R.」が不充分であるといつゝ其の必要を痛感させられた。

(恒吉報)

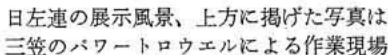


サービスは日夜健闘を続けて地盤をガツチリと握つて居られるので、今後この活躍と主眼 二月 日本建設機械化協会関西支部主催 国鉄大阪環状線弁天町駅前会場



自 四月十五日
至 四月十六日

第23回日左連全国大会



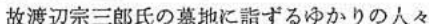
(四月十八日横浜蓮光寺にて)

午前十一時内海会長がテ
ブを切つて、創立十五周年
記念と銘打つた建設機械展
はこゝに開幕された。

出品者凡そ八十五社、特
に目新らしいものは見当ら
ないようだった。二日ほど
雨の日があつたが、全期間
を通して好天に恵まれ、参
観者は午前よりも午后に多
かった。我が社からは、パ

谷岡社長の案内で西部地区
代理店の方々が多数參觀さ
れて一と際賑やかであつた。
しかし全体的に十日間
を通じて、いさゝさ低調
の様に思えた。これもすべ
ては不況ムードと云う壁が
通行を塞いでいるからでも
あつただらうか。

(佐潟報)



(六月六日豐川稻荷詣蒲郡遊覽)

(六月六日豊川稻荷詣蒲郡遊覧)

大沢主任と新堀嬢が病氣のため不参加となつたので少々淋しい、それでも總務部の繁華街を通り抜けて四十五名、九時半のこだま号でいとも賑やかに東京駅を出発した。

雨の予報は嬉しくもすつかりはづれて、燦々とかがやく真夏の太陽が頭上を遠く真夏に照りつける。豊橋で待期させて置いた近鉄のバスに乗り換え、曹洞宗円福山妙厳寺の鎮守神として祭

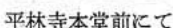
いある棧橋を渡つて竹島弁天に参拝し、更にバスで蒲郡の繁華街を通り抜けて目指す西浦温泉に入った。旅館富士見荘は凡そ二百米も上の丘に建つていて眼下に三河湾の風景が手に取る如く見え、遙か左右に渥美、知多の両半島が絵の様に浮かんて実に素晴らしい眺めである。だが肝心の温泉の方は湧し湯の鉱泉で其の色もにごつていて余り感心し

だ。先づ田摩社長挨拶から京谷社長の簡単な祝辞があつて一同居間から中華料理に舌鼓を打ちビールにしまつた。く酔わされてしまつた。

東京飯店を出たのは二時半頃でもあつたらうか。一路中央螺旋の朝霞工場へと車を走らす。全工場は二階建て、二階は殆どが部品の検査場と一部現場事務所に当てられてゐる。一階は螺旋管工場で、折柄直径六吋



中央螺旋管工場前にて



間余りでこんな閑つた。しかし、裏の障子を開けるとそこら一面竹藪で、竹の子がニョ／＼と頭を出して長いのは、早くも二日位になつてゐた。この藪は平林寺へ続いているとのことであつた。ふと京谷社長が古人の句に「筍や和尚子もあり金もあり」と披露されて一同失笑した。

ここでも中央螺旋の田口社長の御挨拶があつて祝宴に入り、面白土地なまつの酌婦達のサービスにすっかり破目をはづし、最後に京谷社長から両社に対し御甚なる謝辞を述べてお開きの新鮮さがあつた。

に著く、直ちに庫裡へ上がつて一と休みした後、長い「鶯廊下をつたつた本堂へ案内される。此処で祈禱が済むと又元の庫裡へ戻され此処で豊川名物の精進料理をしたま御馳走になる。再びバスで三谷温泉郷を経て竹島遊園に到着、途中下車して江の島の倍ぐら

れたことであつた。翌日は渥美半島を一巡すべく、伊良湖岬に向ひ、砂浜辺に下り立ち、昼食した後、灯台や石門、フラワースタンプなどを見て廻つて予定通り午後五時の豊橋発で無事帰路に着いた。

(星野報)

呼ばれ、彼の丸橋忠弥のお堀端で「かゝるところへ伊豆の守」と傘をさして出て来る名調子の場面をかもし出す松平伊豆守の菩提寺、山門、鐘樓、本堂、墓所などのすばび大きく立派なところ、其周囲にある樹木のこれ又巨大で枝振り



両工場増築落成祝いの記

5月7日新宿東京飯店と朝霞新玉亭にて

我が社の有力な協力工場であり、三笠笠友会の幹事会社でもある両社では此のほど、我が社の社長以下八名の幹部社員と笠友会々長桜電機(株)加藤社長等を招いて、増築の御披露をされた。先づ午前十時半に本社を出発、渋谷初台の田摩工場を参観、増築後ひときわ整然とされた場内と特殊な自動捲線機の素晴らしい稼動状態をまぎ／＼と拝見させて貰つて感激一入深いものがあつた。やがて応接室で田摩社長御夫妻並に御子息等のお手厚い御款待を受けて一と休みした後、新

